

宿泊外国人比率 84%のホテルが、日本の美で訪日外国人をおもてなし

水野卓史制作 “アーティストルーム 源氏物語” 完成

2016年12月20日(火)より宿泊・販売開始

パークホテル東京（運営：株式会社芝パークホテル 東京都港区、代表取締役社長 柳瀬連太郎）は、訪日外国人のお客様に「日本の美」をお楽しみいただけるよう客室全体をアーティストが装飾する「Artist in Hotel」という取り組みを2012年12月よりスタートしております。31階フロアの31室すべてを改装すべくプロジェクトが進行中で、この度12月20日より「アーティストルーム 源氏物語」の販売を開始いたします。

パークホテル東京は、増加する外国人宿泊者に向けて滞在中の宿泊満足度向上を目指す取り組みとして、「日本の美意識が体感できる時空間」をコンセプトに空間づくりを進めております。その一環である、アーティストルームの27室目は「源氏物語」をテーマに、水野卓史さんが2016年10月17日から制作をスタート、ホテルに滞在したり、通ったりしながら約1ヶ月間半制作を続け、2016年12月1日に完成いたしました。

水野さんは、戦前から現在に至るまで日本の広告界をリードしてきた資生堂宣伝部の元制作室長で、男性用美容商品は成功しないと考えられていた時代に「MG5」や「BRAVAS」などプロデュースし、日本で本格的に男性用化粧品ブランドを確立させたひとり。自らもイラストを描く一方で、イラストレーション表現から現在の写真表現へと移る1960年代の化粧品広告、広告デザイン史の時代を牽引してきた立役者です。戦前戦後の日本の美意識を受け継ぎ、後生にバトンタッチしようと常に新しいテーマで挑戦を続けてきた水野さんが、ホテルのプロジェクトに共感し、日本が誇る平安中期の長編物語「源氏物語」を題材に客室を装飾しました。

「源氏物語絵巻」をイメージして、部屋全面大小5つの壁に貼られた大きな和紙。描かれたのは、桐壺、若紫、須磨、鈴虫など、水野さんご本人のイメージから生み出されたという源氏物語のシーンです。柔らかい女性表現を旨とし、大学時代から好んで使用しているという水彩絵の具を用いて、多くの美女を描いてきた水野さんならではの、洗礼された優雅な世界、恋心に揺れながらも気品あふれる女性の美しさを表現しました。

アーティストルーム「源氏物語」では、平安時代の優雅な世界に想いを馳せ、ドラマチックな滞在をお楽しみいただきたい。パークホテル東京は、日本を訪れた外国人の思い出を彩るような滞在をご提供してまいります。



「アーティストルーム 源氏物語」内観



制作風景 水野卓史



■「アーティストルーム 源氏物語」概要

宿泊開始：2016年12月20日(火)より販売開始

部屋タイプ：アーティストルーム ダブル

広さ：22平米 ベッドサイズ：1,600×1,950

販売料金：1室2名利用 40,000円（消費税・サービス料・東京都宿泊税込）

ご予約・お問い合わせ：03-6252-1100

特設サイト URL：<http://www.parkhoteltokyo.com/artcolours/aih.html>

総合プロデュース：creative unit moon

■作家略歴

水野 卓史

グラフィックデザイン、アートディレクション、イラストレーター、ADC会員

1933年 大阪市生まれ

1955年 多摩美術大学図案科卒、(株)資生堂宣伝部入社

1980年 水野デザイン事務所主宰

[受賞]

2000年 日本宣伝賞 山名賞

2009年 ADC Hall of Fame

[個展]

1969年 資生堂ギャラリー

1978年 銀座 三越

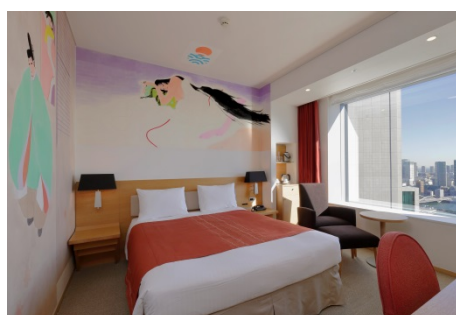
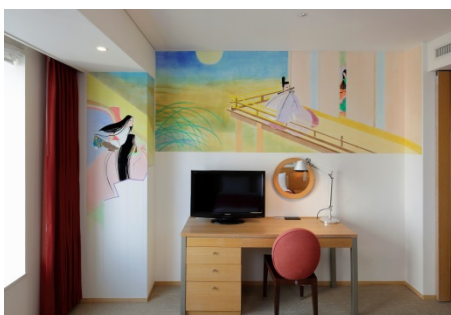
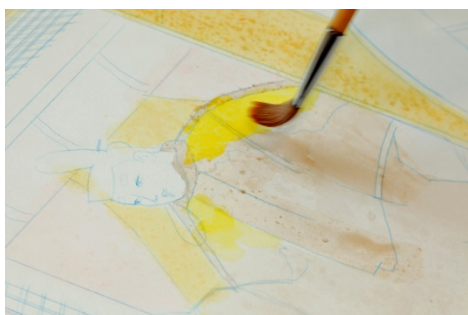
1988年 銀座 TAE

1992年 フランス・カストル

1998年 銀座 松屋

[著書]

2008年 「資生堂宣伝部日記」 文芸春秋企画出版部



「Artist in Hotel」プロジェクトは31Fフロアの客室31室すべてをアーティストルームにするべく、12/20現在、27室の客室と喫煙スペースが完成、2室が制作中。**全室完成まで、あと2部屋！！**ホテルコンセプトである「日本の美意識が体感できる時空間」に共感し、特徴のある客室のトータルデザインに意欲のあるアーティストを2016年12月末まで募集しております。**制作中のお部屋の取材も承ります。**

<本件に関するお問い合わせ>

パークホテル東京 マーケティング部 広報：宮崎、早乙女

Email：y.miyazaki@parkhoteltokyo.com 〒105-7227 東京都港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー

TEL：03-6252-1111(代) FAX：03-6252-1001